

## 作品を語る

武蔵工業大学・教授 岩崎 堅一、武蔵工業大学・准教授 手塚 貴晴  
建築学科 3年次対象 担当教員：伊藤 重剛

### 実施概要

日時 平成20年10月24日（金） 17:30～19:00

場所 熊本大学工学部百周年記念館

受講対象者 建築学科3年生を中心とした学部生、及び大学院生

参加者 120名（他学年生、市民を含む）

岩崎堅一教授の専門は建築設計で、講演では2008年度の日本建築学会賞を受賞した、武蔵工業大学新建築学科棟の設計について、そのコンセプト、諸空間配置、平面、立面等について、その具体的な内容について説明があった。特に熊大をはじめとしての学生の参加者が大半であったので、建築をめざすものの心構えについて話があり、学生諸君にとっては非常に有意義であった。ちなみに今回の講演会は、建築学会賞を受賞した同じ武蔵工業大学の手塚隆晴氏との共同講演であった。

学生たちの感想を聞くと、一様に満足した様子で、それぞれに将来建築を目指す者として大きな刺激を受けたと話をしていた。

### 学生の感想文

- ・ 手塚先生の言葉にもあったが、良い建築つくる為には、よい経験をしているべきであり、お二人のお話には建築や門作りについてだけでなく、実際の生活や旅、教育や政治、人付き合いなどについてのお話も含まれていて非常に興味深かった。
- ・ 全く異なるタイプの両氏において「建築は仮設的でなく残るものである。」という点において、共通点が感じられたことが、講演で最も興味深いことであると感じている。将来、設計活動を行なう私にとって、自分と異なる建築家の思想を聞くことは、新鮮で刺激的な経験となった。
- ・ 言葉では表現できない程の感動的な講演であった。変わっていく時代の中で多様な人々のライフスタイルに応じて建築を作ること新たな可能性が発見できそうな気がして、講演の間はずっと興奮状態であったし、講演会が終わった今でもその考えは変わっていない。



岩崎氏の講演作品



手塚氏の講演作品